



# さくら会 だより

\*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第72号 2026年1月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1  
(03)5753-3900(代)FAX(03)5753-3955  
ホームページ: <https://shinagawa-sakurakai.or.jp>



明けましておめでとうございます

社会福祉法人さくら会  
理事長 前田 武昭

旧年中は一方ならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。皆さま健やかにお過ごしで下さい。

昨年（令和7年）10月に日本で初めて女性の内閣総理大臣が誕生しました。さくら会の職員は244人中、169人が女性です（69.3%）。係員も19人中、13人が女性です。多くの女性が活躍する高齢者介護の事業所です。しかし、管理職は14人中2人しかいません。

多様な働き方を応援する意味でも、女性の管理職登用に力を注いでいく必要があると感じています。介護の質を確保するために一番重要なのは、介護職員等人材の育成にかかっていると言えます。一人ひとりの職員が働きやすい職場となるよう今後も力を入れてまいります。

さて、職員相互および職員と地域の皆さんとの交流の場もある第21回さくら会まつりを、11月2日（日）に開催しました。昨年同様、以前よりは縮小しましたが、昨年以上に多くの方々に来ていただきました。当日は、秋晴れの中、利用者の作品展示やゲーム、町会の模擬店など皆さんには十分楽しめたかと思います。

今後も利用者と地域の皆さんに選ばれる質の高いサービスを追求してまいりますので、本年も何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

# 全国介護老人保健施設大会に参加

ケアセンター南大井

11月27日～28日にかけて、山口県下関市で開催された「第36回全国介護老人保健施設大会」に参加してきました。



さくら会からは、重度えん下障害の利用者に対し、干渉電流型低周波治療器ジエントルスティムを約一年間継続使用した症例を発表しました。ジエントルスティムは、えん下反射の改善を目的とした治療器です。

痛みや刺激が少ないため、認知症の人保健施設はまだ少なく、発表後は、興味を持って下さった施設からの質問が多くあり、活発な意見交換が行われました。当会でも、引き続き機器を使用しながら、えん下リハビリテーションを実施していきます。



第36回 全国介護老人保健施設大会 山口



駄菓子屋

うさぎのしっぽ



また、「品川介護福祉専門学校PRコーナー」を設置し、卒業生メッセージ等を通して、学校や介護の仕事の魅力を発信しました。この他、作品展示・園芸販売・模擬店・調理パンと焼き菓子・手作り工芸品販売、さらに駄菓子屋さん、縁日コーナー等々、多彩な企画が好評でした。ご支援、ご協力をいただきました、品川区、町会、区内法人および福祉用具事業者の皆さん、ご来場いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。



令和7年11月26日（木）に「第21回さくら会まつり」を開催しました。森澤品川区長をはじめ約450名以上の皆さんに来場いただき、大盛況となりました。今回は品川区の認知症啓発キャラクター「くるみちゃん」が初参加。会場を盛り上げてくれました。



# 第21回さくら会まつり開催報告 くるみちゃんも初参加

# 元気な心と体を維持するための特効薬

品川区立月見橋在宅サービスセンター

（大井林町俱楽部）

認知症の啓発イベント『しながわオレンジフェスタ』に参加し、当事業所の利用者が作成した作品を販売しました。

オレンジフェスタに向けて全員で協力して当日販売するポプリやミニ巾着、髪飾りを作成しました。

開始2時間後には完売。購入者からは「可愛い」と好評でした。会場を訪れる多くの方に商品を通じて、要介護や認知症の状態にないことも主体的に参加し、「できることができる」と伝えられたのではと考えています。



# もしも災害が起つたら

品川区立大井林町地域密着型多機能ホーム

（大井林町俱楽部）

令和7年11月9日（日）、大井林町俱楽部におきまして、停電想定の防災訓練を行いました。この日は施設内の電気設備点検があり、実際に電気の使えない状況での訓練でした。

朝9時に地震



が発生したという想定で訓練を開始し、9時30分頃から施設内が停電。照明が消え、非常灯のみが点灯する薄暗い環境となりました。あいにくの雨も重なり、少し心細い雰囲気になる場面もありましたが、利用者に安心していただけるように職員が明るい言葉掛けをして対応しました。

水道が使えないのにペットボトルで手洗いをしたりと、いつもと違う雰囲気の中でしたが、少しすると利用者も落ち着いて過ごしていました。



オレンジフェスタ終了後に作成に関わった方に成果を伝えたところ、「良かったわ。次もまたがんばらなきゃね」と、その表情はとても輝いていました。

芽生えた意欲は元気な心と体を維持するための特効薬です。当日参加が難しい方にとっても、自分の思いを表現し、イベントに関わるための大切な機会となっていました。

今回の訓練を通して、日頃の備えがいかに大切かを改めて実感する機会となりました。

# 大井第一地区民生委員学習会開催

南大井在宅介護支援センター  
南大井第一在宅介護支援センター

10月8日（水）、大井第一地区の民生委員を対象に認知症サポーター・レベルアップ講座を開催しました。

35名の民生委員が参加され、講義や寸劇の後、グループに分かれて「認知症の方に優しい地域の人とは」を検討しました。



参加者からは、「認知症をひとくくりにせず、地域の方々を個別に理解し見守りたい」「『おせつかい』は地域に優しいと思った」「まずは、日頃からの挨拶や何気ない会話がお互いにできるような地域にしたい」等、活発に前向きな意見交換がなされ、ロールプレイでも素晴らしい対応ばかり。



私たちも、大井第一地区の民生委員の皆さまの、地域づくりへの意欲やスキルの高さと思いやりを学ばせていただきました。

# 245 うさぎの耳より情報

## 西五反田事業部



さくら会西五反田事業部施設長の橋本です。

西五反田事業部は、ケアホーム、さくらハイツ、在宅介護支援センター、障害者計画相談事業所、在宅サービスセンター、ヘルパーステーションと6つの事業所を運営

しています。

現在事業部で取り組んでいることを2つご紹介します。

一つ目に、西五反田事業部では、5か国22名の海外人材が介護職員として活躍されています。月に2回介護福祉士

の勉強会を開催し、介護福祉士資格取得に向けて頑張っています。



二つ目に、ICT等の活用です。ケアホームの各居室には見守りカメラを設置し、入居者の安全安心な生活に繋げています。

また、脳の活性化、認知症予防に効果が期待される『カシマ波サウンド』スピーカーの効果検証や、介護記録を全て音声で入力する記録ソフトの実証等を進めております。入居者のより良い生活に、また職員が働きやすい環境づくりに繋げられるよう取り組んでいます。

## 送迎車の購入

### 南大井在宅サービスセンター

南大井在宅サービスセンターでは、令和7年10月に送迎車両を新たに3台購入いたしました。今まで使用してきた車両は、どれも15年以上使用しており、走行距離も17万キロ以上と長く、故障も多くなっており、買い替えを検討していました。



### ケアセンター南大井

介護職 山田 哲司

介護老人保健施設  
ケアセンター南大井  
にて介護係長をして  
います。

### Q2・専門職として心掛けていること

入所時からの、生活状況を2週間ほど観察し、食事・排泄・睡眠等の多岐項目を情報収集し、分析することで、その利用者個々にあったケア方法を形成していきます。

これらの作業をアセスメントと言いますが、一人では行えないため、介護職員はじめ、医師・看護師・理学療法士・管理栄養士・介護支援専門員等が協力して、12種の専門職で行っています。これが老人保健施設の仕事の醍醐味でもあります。

### Q3・ご利用者、読者に向けてメッセージ

さくら会を利用いただく皆さん、一緒に働く職員の皆さまとの出会いに感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張りすぎずに働いていきたいです。

次回7月号は介護支援専門員の

「折原 現」さんの登場です！

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和8年7月です。

連載 NO.31

…専門職に聞く…